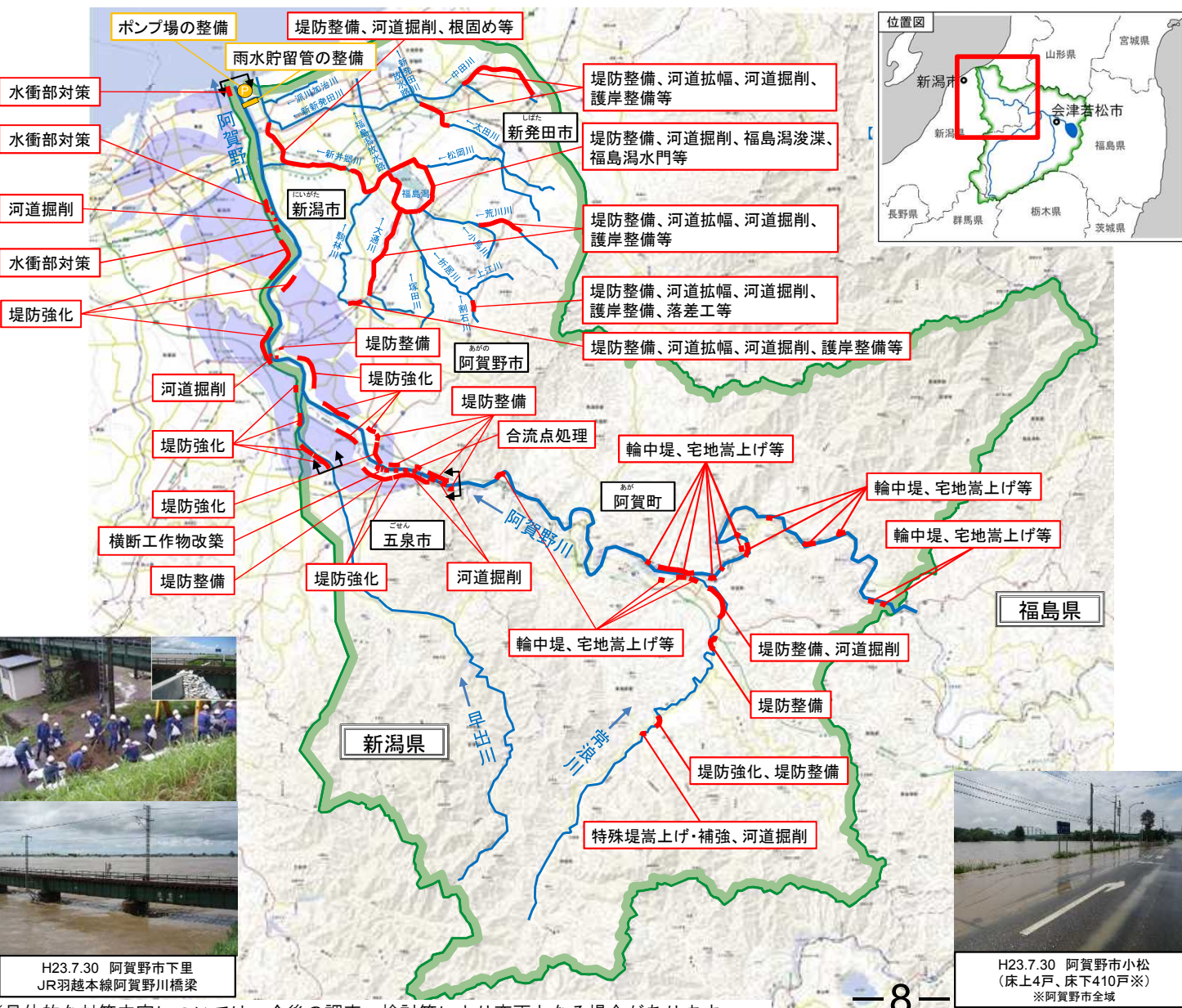


阿賀野川水系（阿賀野川）流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

資料-3

～「蛇行著しい大河」低平地広がる越後平野での治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、阿賀野川水系(阿賀野川)においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の平成23年7月新潟・福島豪雨と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



■河川における対策
 対策内容 河道掘削、浚渫、河道拡幅、堤防整備、堤防強化、水衝部対策、横断工作物新築・改築、護岸整備、宅地嵩上げ等

■流域における対策

- ・計画目標1/10雨水貯留施設、雨水管、雨水ポンプ場整備
- ・開発行為に伴う貯留施設整備
- ・学校グラウンド貯留浸透施設整備
- ・雨水浸透升、貯留タンク設置への助成金交付事業
- ・田んぼダム取組支援、既整備地区での農地関係者連携した適切な管理
- ・利水ダム等32ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、福島県、新潟県、東北電力(株)、電源開発(株)、土地改良区など）
- ・浸水想定区域の居住誘導区域除外（現市街地を除く）

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策

- ・水害リスクの高い区間の監視体制強化
- ・通信事業者への映像情報提供
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市が連携した水防訓練の取組、危険箇所合同巡視
- ・内水被害想定箇所での排水ポンプ車設営訓練
- ・国・県・市が連携したタイムラインの運用、ハザードマップ作成
- ・親子防災講座、自治会防災塾、小中学校出前講座、まちごとハザードマップなどによる住民・教育機関への防災啓発
- ・要配慮者施設への避難確保計画作成支援、出前講座
- ・内水常襲地への排水ポンプ整備、設営訓練
- ・マイ・タイムラインの普及啓発・作成支援
- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの整備
- ・防災FM、防災メールの整備、SNSによる情報発信強化

※今後、関係機関と連携し対策検討

凡 例

- 浸水範囲(戦後最大規模に対する氾濫解析)
- 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。